7月のお知らせ

2022/7/1

7月18日は祝祭日の為、最終受付時間が18時迄となります。お間違えないようお願い致します。

夏は気温も上がり、ノミやマダニ、フィラリアが活発に行動し始める時期です。
マダニやフィラリアは人にも感染することがあるので、わんちゃん、ねこちゃんを感染症から守ってあげるためにも毎月の予防は忘れずに行いましょう。

予防薬の種類	予防薬の名前	予防回数
注射	プロハート	年1回
錠剤	ハートメクチン/パナメクチン/クレデリオ/クレデリオプラス	月1回
おやつ	イベルメック/ネクスガード/ネクスガードスペクト	月1回
スポット	フィプロスポット/レボリューション/ブロードライン	月1回

7月の専門外来

・整　形　:7月11日(月)
・循環器 :7月9日(土)
　7月10日(日)
　7月23日(土)
　7月24日(日)
・腫　瘍　:7月5日(火)
　7月12日(火)
　7月19日(火)
　7月26日(火)
・リハビリ :7月8日(金)
　7月22日(金)
・神　経　:7月7日(木)
　7月21日(木)
・眼　科　:7月14日(木)

料金改定のお知らせ

7月1日よりシロップ等の液剤のお薬をお出しする際に使用しておりました容器に関しまして料金が発生することとなりました。
容器の価格は大きさに関わらず一律、55円(税込み)とさせて頂きます。
ご迷惑をおかけしますが、予めご了承下さい。

⇐対象のボトル

蠅蛆症(はえうじしょう)に気を付けましょう！！

蠅蛆症(はえうじしょう)は熱中症・外耳炎と並び、気温が高くなると多くなる病気です。

日本でのペットの蠅蛆症は夏に蛆の偶発的な寄生により生じ、気を付けていても体表や皮下に寄生されることがあります。近年はペットの高齢化が進み、特に起立困難な高齢犬の褥瘡に寄生されるケースが増加しています。また、外飼いのわんちゃんの場合寄生されても飼主様の発見が遅れることが多い為、多数の蛆が寄生していることが多いです。

蠅蛆が寄生する要因として、外飼いや自分でグルーミングが出来ない、生活環境の衛生状態が悪いなどがあげられ、特に蠅蛆を誘引する皮膚炎や褥瘡などの皮膚損傷、腫瘍や糞尿で汚染された皮膚や皮下組織に寄生し、元々あった異常部位とその周辺組織を蛆の寄生と穿孔によって新たな組織損傷や炎症の拡大が起こります。

蛆は何らかの損傷を受けたり壊死した皮膚や皮下組織に侵入して傷んだ組織を食べ続けながら活発に皮膚表面や皮下を移動する為、激しい痛みや不快感を生じます。こうした状態から不眠になったり、鳴き続けたりすることもあり、飼い主さんが異常に気付くこともしばしばです。

蠅蛆症の予後は原因となる疾患及び生活環境によって左右される為、蠅蛆症の発生を防ぐには傷口や床擦れなどの部分を清潔に保つことは当たり前のことですが、ケージ内の敷物を清潔に保つことや残った餌、糞便などをこまめにチェックし適切に処理してあげるなど周辺の環境も清潔にすることが重要となります。

蠅蛆症は基本的に2次的に生じる疾患であり、蠅蛆症の治療自体はそれほど難しくはないですが、蛆の寄生を受けること自体が動物の抵抗力の低下、生活環境の問題を表しており、特に高齢の動物では予後不良と判断されるケースも多く、若齢の動物では特に子猫の外傷部に寄生されるケースが多いです。高齢の外飼いのわんちゃんがいる場合は様子を見てご飯をあげるだけでなく、少しの時間でも良いので動物に目を向ける時間を増やして毎日スキンシップを取って病気・怪我の早期発見をしてあげて下さい。

みなみ野動物病院
tel: 042-636-3133
・診療時間:9時-12時/16時-20時(最終受付:19時30分)
・祝祭日診療時間:9時-12時/16時-18時30分(最終受付:18時)

Saloa
tel: 042-635-1122
・営業時間:9時-19時(最終受付:18時30分)
・祝祭日営業時間:9時-18時30分(最終受付:18時)